

中部横断自動車道 みらい会議(南牧村) 第1回 議事概要

日時 : 平成28年12月26日(月) 13:30~15:40

場所 : 南牧村役場 3F 会議室

参加者 : 委員 17名、オブザーバー 4名、立会人 2名

○高速道路の整備が及ぼす影響

〈メリット〉

- ・南牧村は、どこに行くにも不便。高速道路ができれば、日常生活の利便性が向上する。
- ・国道141号の代替路として、安全・安心の確保に繋がる。
- ・通勤圏が拡大し、人口の流失を抑制できる。
- ・南牧村が軽井沢の観光客の行動圏域に入ると期待。また、静岡方面の観光客誘致も期待。
- ・農産物の輸送トラックの通行が多く北杜市民の生活に影響を及ぼしている課題が、国道等から高速道路に交通が転換することにより軽減できる。

〈心配・不安〉

- ・高速道路ができると、国道141号の交通量が減り、沿道の店舗には影響がでる。通過点にならないか心配。
- ・観光面では景観が重要であり、影響が心配。美しい星が見えづらくなれないか心配。
- ・優良農地の分断や農業に与える影響が心配。
- ・工事に起因した騒音等による生活環境の悪化が心配。

○インターチェンジについて

- ・ICが国道から離れると不便。
- ・ICは、2箇所欲しい。
- ・野辺山原で1箇所(県境付近又は板橋ふれあい公園付近)。役場付近で1箇所。

○ルート帯について

- ・IC周辺以外は、国道141号から離れても良いと考える。
- ・野辺山地区は、どこを通ることもダメと考える。現在の1km幅ルート帯は納得いかない。
- ・ルートを変更したとしても変更先から異論が出ると想定される。
- ・盛土の中部横断道と国道が交差すると、国道が日陰になり路面凍結が心配。国道の交差は最小限にして欲しい。また、国道の西側か北側を通過してほしい。
- ・集落や優良農地を避けて欲しい。
- ・事業に反対ではない。ルート変更を望む。ルートはより西側がいいと思う。

○その他意見

- ・早期開通することを願う。
- ・現ルート帯の中で、影響が少なくなるように皆で知恵を絞って前に進めるべき。
- ・広い堆雪帯を確保すべき。
- ・土地をなるべく潰さない工法(トンネルや掘割蓋かけ等)を選定して理解を深めるべき。
- ・野辺山1kmルート帯の決定に至るまで説明が足りない。
- ・野辺山の住民は、情報に疎く、動きが遅かった。
- ・南佐久郡全体での調整を行う際には、痛みを受ける地域の意見は大切にしたい。